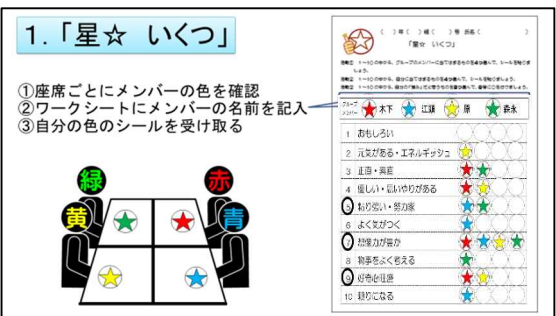
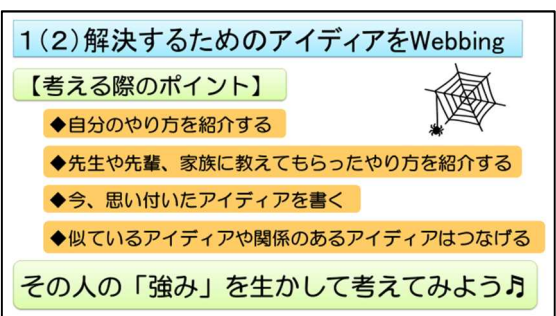
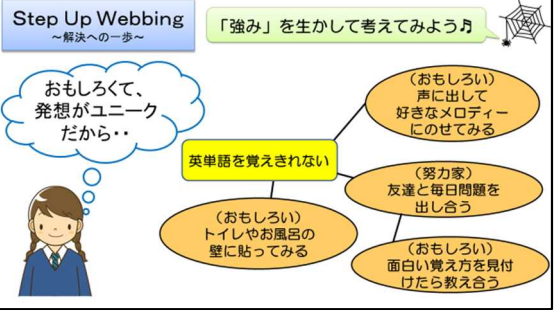


2 研究の実際 > (2) 授業の実際

ア 交流活動を進める際のポイント（高等学校）

	主な活動（交流活動…）と授業スライド等	生徒の実態に即した活動のポイント
① 自分や友達の「強み」を知ろう	「強み」について知る 「強み」の定義 3. 「強み」(ストレングス)について知る 「強み」(ストレングス)とは ＝人の思考、感情、行動、からだ 人に備わっているもの、 人にあるもの、 人が持っているもの 「強み」を理解するポイント 4. 「強み」(ストレングス)を理解するポイント 「強み」(ストレングス)とは ポジティブ(プラス)だと思われる ことばかりでなく、 ネガティブ(マイナス)に思えることも 含めて、「強み」として考える	「強み」(ストレングス)という言葉に対するイメージは、「勉強ができる」「優しい」「足が速い」等、長所や特技と同等に捉えていることが考えられます。 →スライドを見ながら、「強み」の定義を理解します。 ネガティブ(マイナス)だと思われることも自分の「強み」として捉えるという発想は出にくいことが考えられます。 →これから学習する「強み」が、単なる長所や特技とは異なることを知り、これからの学習内容への期待を高めます。
	自分Webbing 「自分Webbing」の記入例 (授業者の好きなものや苦手なこと) 自分Webbing ～が好き、～が苦手などから思いつくままにどんどん付けていきます 私 好きなもの：『000000』の月島くんが好き、メガネが好き、メガネをかけた人が好き、一人の時間が好き、人見知りをする、人付き合いがめんどうくさい、読書が好き、漫画も大好き、漫画喫茶を開きたい、美術館めぐりが好き、勉強の教材だから我慢、インドに行きたい、週3でもいける、カレーが好き、蜘蛛が苦手 友達と自分の「強み」見付け 友達 子供が好き、海外に行きたい、音楽が好き、世界の子供と触れ合いたい あなたの「強み(ストレングス)」は 素晴らしい目標をもっているところ だと思います。 ()より あなたの「強み(ストレングス)」は 子供を助けるために世界にも行けること だと思います。 ()より 2 「自分Webbing」をやってみて、自分の「強み(ストレングス)」 私の「強み」は 将来への大きな目標へ明確なこと	自分の「強み」を自分自身で表現することに躊躇したり、自分には「強み」がないと考えたりする生徒がいることが考えられます。 →授業者の「好きなもの」や「苦手なこと」を示した「自分Webbing」を参考に、書きやすいところから始めることにより、活動に取り組みやすくなります。 友達の「強み」は、自分の「強み」よりも見付けやすく書きやすいことが考えられます。 →友達の「自分Webbing」を参考に友達の「強み」を見付けて友達のワークシートに書くと同時に、友達からも「強み」を書いてもらうことにより、相互承認の中で安心して自分の「強み」を書くことができます。

	主な活動（交流活動・・・）と授業スライド等	生徒の実態に即した活動のポイント
② 自分や友達の「強み」を生かそう	星☆いくつ 友達と自分の「強み」見付け 	自分から先に自分の「強み」を友達に意思表示することに躊躇したり抵抗を示したりする生徒がいることが考えられます。 →まず、友達の「強み」にシールを貼る活動を通して友達の「強み」について考え、次に、友達から貼ってもらったシールを参考にして自分の「強み」について考えることにより、安心して活動に取り組むことができます。
	Step Up Webbing ～解決への一歩～ アイデアやヒントの視点 	自分の“苦手なこと”や“困っていること”に対して、自分の「強み」を生かして解決するという発想は出にくいことが考えられます。 →スライドの説明を参考にして、“苦手なこと”や“困っていること”を解決するアイデアを考える視点を学習します。
	「Step Up Webbing」の記入例（苦手なことを解決するアイデア）  自分の「強み」を生かす  「Step Up Webbing」を見て、自分の「強み」を生かして、自分がやるべきことを考える。	当事者として考えるよりも、第三者としてアイデアを考える方が取り組みやすいことが考えられます。 →友達の“苦手なこと”や“困っていること”を解決するアイデアを、友達の「強み」を参考にして考えることで他者理解を深めます。 友達がアイデアを考えてくれたことへの感謝の気持ちや、友達にアイデアを提供できたことへの達成感を感じることが考えられます。 →友達から書いてもらったアイデアを参考にし、自分の「強み」を生かした解決方法を考えさせることにより、実践意欲を高めます。

	主な活動（交流活動・・・）と授業スライド等	生徒の実態に即した活動のポイント
③ 自分や友達の「強み」を生かしていこう	Treasure Webbing ～「強み」の宝箱～ 活動の振り返り 「Treasure Webbing」の記入例 (整理した自分の「強み」) (1)これまでの活動で見付けた自分の「強み」を書こう 「Treasure Webbing」の記入例 (友達が書き加えた「強み」) (2)メンバーの「強み」だと思うものを書き加えよう	自分の「強み」の具体的なイメージが持てなかったり全体像が掴めなかったりして、自分の「強み」に自信を持つことが難しい生徒がいると考えられます。 →スライドや前時までのワークシート等を見ながら、自分の「強み」を再確認します。 1、2時目で知った「強み」を関連付けたり、新たな「強み」に気付いたりするためには、視覚的な手立てが有効だと考えます。 →1、2時目で知った自分の「強み」をウェビングで視覚化・整理することにより、俯瞰的に自分の「強み」を再確認することができます。 友達の「強み」を書き加えるときに自分の名前を書き添えることにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲が高まると考えます。 →友達に「強み」のプレゼントを贈ることへの喜びや達成感を感じると同時に、友達から「強み」のプレゼントを受け取ることにより友達への感謝の気持ちを高めます。
	これがあれば大丈夫！ 「これがあれば大丈夫！」の記入例 (生かしたい「強み」)	友達が「強み」を書き加えてくれたことへの感謝の気持ちと友達から承認を受けたことへの安心感から、自信を持って自分の「強み」を選ぶことができると考えます。 →友達から書き加えてもらった「強み」を参考にし、自分の「強み」を選んだ理由を考えさせることにより、実践意欲を高めます。

※3時間の学習で使用したワークシート等をファイルにとじ、「ストレングス・グッズ」として生徒に配付します。